



志摩市総合教育センター

～確かな学力をつけるために～

本年度も小学校6年生と中学校3年生の児童生徒を対象に、全国学力・学習状況調査が実施されました。問題例の紹介とともに調査結果についてお知らせします。

全国学力・学習状況調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。(「令和5年度 全国学力・学習状況調査に関する実施要項」より抜粋)

調査の結果から児童生徒の学力・学習状況について分析しました

教科の調査問題について、正答率80%以上であったものを(○)、40%以下であったものを(▲)としてその中の一部を紹介します。

小学校 国語

平均正答率は、全国平均をやや下回りました。

(○)送り仮名に注意して、文の中で漢字を正しく使う問題。
(▲)自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題。

(▲) 図やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題。

【正答例】グラフから分かるように、学校の田んぼでは雑草が増え続けていたため、雑草に栄養をとられてしゅうかくが減ってしまうかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。

※この問題の正答率は、26.3%です。約7割の子が、条件を満たす文章を書くことに課題があります。

〈条件〉
○学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ(農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量)と「カード④」のそれぞれから分かることを書くこと。
○問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書くこと。
○六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

【川村さんの文章】

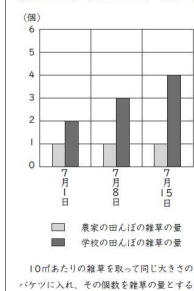
学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしゅうかくすることができました。しゅうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、いがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとくらべてみました。きかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量



10㎡あたりの雑草を取って同じ大きさのバケツに入れ、その個数を雑草の量とする。

このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしゅうかくすることができました。

【カード①～⑤】は省略

【川村さんの文章】の「い」に学校の米作りの問題点と「き」に入る内容をどのように書き表しますか。あとの条件に合わせて書きましよう。

つよみ

よわみ

送り仮名に注意して、文の中で漢字を正しく使うことはおおむねできていますが、図やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書く問題に課題が見られます。

つよみ

正答率の高かった問題。漢字を正しく使うことができています。

対応

様々な情報の中から原因と結果などの関係を見つける学習を学年の発達段階に応じて行っていきます。

「くらべて」を正しく書き直したものを選ぶ問題では、9割以上の子が「比べて」を選び、正解でした。



小学校 算数

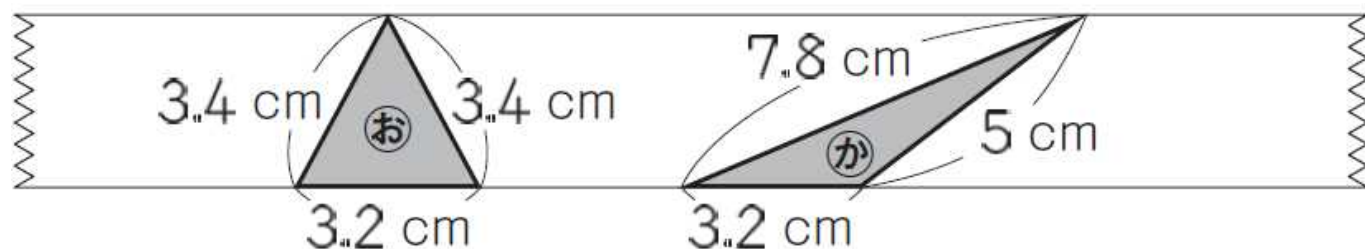
平均正答率は、全国平均をやや下回りました。

(○)乗法(かけざん)の計算をする問題。

(▲)面積の大小を判断し、その理由を記述する問題。

(▲)面積の大小を判断し、その理由を記述する問題。

2(4)えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような③と④の2つの三角形をつくります。



上の③と④の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ③の面積のほうが大きい。
- 2 ④の面積のほうが大きい。
- 3 ③と④の面積は等しい。
- 4 ③と④の面積は、このままでは比べることができない。

【正答例】

《番号》3

《わけ》三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求めることができます。③と④の底辺は、どちらも3.2cmなので等しいです。③と④の高さは、テープのはばがどこも同じ長さなので等しいです。だから、③と④の面積は等しいです。

※この問題の正答率は、12.3%です。約9割の子が、三角形の面積を求めるために必要な底辺と高さの関係をつかむことに課題があります。

つよみ

よわみ

基本的な計算はおおむねできていますが、面積の公式の意味を理解し、必要な情報を見つけて、使う問題に課題が見られます。

対応

様々な公式を学習するときは、その公式を使うことができるわけを考えるようにします。

つよみ

正答率の高かった問題。計算を正しく行うことができています。

「50×40」の計算は、8割以上の子が正解でした。



中学校 国語

平均正答率は、全国平均とほぼ同じでした。

(○)言葉の使い方や言語文化に関する問題。
※正答率40%以下の問題はありませんでした

(○)言葉の使い方や言語文化に関する問題

2 「落胆する」の意味として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 慌てる
- 2 恐れる
- 3 恥ずかしがる
- 4 がっかりする

【正答】 4

※この問題の正答率は、91.3%です。事象や行為、心情を表す語句についての理解ができています。

4 〈原文〉の「いひける」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

【正答】 いいける

※この問題の正答率は、80.4%です。歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができます。

つよみ

よわみ

言葉の使い方や言語文化に関する知識や技能はおおむね身につけていますが、古典において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える問題に課題が見られます。

対応

古典を学習するときには、現代語訳や古典について解説した文章などを使って、親しみながら学習できるようにします。



中学校 数学

平均正答率は、全国平均をやや下回りました。

(○)数と式に関する問題。
(▲)図形に関する問題。

(○)数と式に関する問題

2 $12\left(\frac{x}{4} + \frac{y}{6}\right)$ の計算をする

【正答】 $3x + 2y$

※この問題の正答率は、82.1%です。基本的な計算はおおむねできています。



(▲)図形に関する問題

3 空間における平面が1つに決まる場合について正しく述べたものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- ア 1点をふくむ平面は1つに決まる。
- イ 2点をふくむ平面は1つに決まる。
- ウ 1つの直線上にある3点をふくむ平面は1つに決まる。
- エ 1つの直線上にない3点をふくむ平面は1つに決まる。

【正答】 エ

※この問題の正答率は、28.5%です。空間における直線や平面の位置関係の知識に課題が見られます。

つよみ

よわみ

数と計算に関して、基本的な計算はおおむねできていますが、図形に関する知識や技能を問う問題に課題が見られます。



対応

図形の学習においては、観察や操作などの活動を通して、実感を伴いながら理解できるようにしていきます。

中学校 英語

平均正答率は、全国平均をやや下まわりました。

(▲)書くことに関する問題。

※正答率80%以上の問題はありませんでした

(▲)書くことに関する問題

- 10 あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを開いています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。

※短縮形(I'm やdon't など)は1語と数え、符号(, や? など)は語数に含めません。

(例) No, I'm not. [3語]

【正答例】

Our school has a school festival in October. In the festival, we have a chorus contest and we practice hard to win the gold prize. Many people come to listen to our songs.

[33語]

※この問題の正答率は、7.4%です。コミュニケーションに支障をきたすような文法上の誤りがあつたり、語数などの条件を満たさずに回答したりしている生徒が約7割、無解答の生徒が約2割います。

つよみ

よわみ

日常的な話題について、短い情報を正確に聞き取る問題は正答率が高い傾向にありますが、まとまりのある文章を書く問題に課題が見られます。

対応

テーマについて事実や考えを整理し、どのように書けば、よりよく読み手に伝わるのかを考えながら書く活動を行っていきます。

※調査問題は、国立教育政策研究所のウェブサイトから引用いたしました。すべての問題は、同サイトからご覧いただけます。

志摩市総合教育センターでは、教職員研修を充実させ、授業力の向上に取り組んでいます。今後も、子どもたちの「強み」を伸ばし「弱み」を克服できるような学習のあり方について、学校とともに考えていきます。10月号では、学習習慣や生活習慣に関する調査「児童生徒質問紙」の調査結果を紹介いたします。

問い合わせ：志摩市総合教育センター TEL 52-0280